

種まきのポイント

キッチンベジ 初級編

まきどき 適期(関東基準).....
(関東以外の地域や下記以外のタネの種類は、タネ袋に書いてあるまきどきを参考にしましょう)
ガーデンレタスマックス ●3月上旬～6月いっぱい ●8月中旬～10月いっぱい
ベビーサラダミックス ●3月上旬～11月中旬(冬場は20℃前後の保温があればタネまきOK)
ハツカダイコン ●3月上旬～5月上旬 ●9月上旬～11月下旬

セット内容



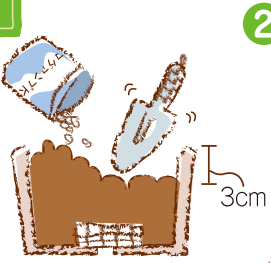
タネのまき方&育て方

1 まず、種をまく前に鉢底ネットを使う場合は、ネットを鉢底に置いてから、タネまき用の土をプランターの上から3cmくらい下まで入れて、マグアンプKをまいて、1ヶ所に固まらないようによく混ぜておきましょう。

混ぜ終わったら、タネをまいた後に、上からかける土を少し別にして取っておきます。

3 ふわっと
ガーデンレタスは土はごく薄くかけます。
ふるいなどでかるく土をかけて、タネが水で流れてしまわないように手で軽く土をおさえます。

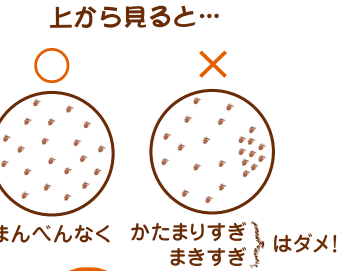
5 発芽!
芽がでてきたら……
太陽にしっかり当てます。
ひょろひょろや
ちいさい芽は間引きします。
また固まって芽が出てしまったところも間引きします。間引きするときに、わりばしや特にハサミを使うと、となりの苗を傷めずに済みます。



2 きれいにならした土に、まんべんなくタネをおとします。
まく時に、指でまくか、ハガキを折り曲げ、タネをのせてトントンたたいておとしてもやりやすいです。
ハツカダイコンは指でスジをつけ、スジをつけたところにタネをまきましょう。

4 その後、水を与えます。水は水溜まりにならないようにじょうろのハス口を使って何回かに分けて。
ラベルに日付やタネの名前などを書いて挿しておきます。発芽するまで乾かさないように!

Point
成長に合わせて、生育のよいものを残して、何回かに分けて間引きして株間を広げます。
1cm以上
芽が出て、1cm以上くらいの高さになったら、水をやる時にじょうろのハス口を使わずにやさしくプランターのふちから水を与えると、苗がぬれて倒れてしまうのを防ぐことができます。水やりのタイミングは、土の表面が白っぽく乾いてきたら、プランターの下から水が出るくらいたっぷりを与えます。



Point
じょうろのハス口は、上に向けておくとやさしいシャワーになってタネが流れにくくなります。

収穫は…
レタスなど葉っぱの野菜は根元から切って収穫します。ハツカダイコンは太った根の頭が土から盛り上がって見えたら収穫です。
間引きした芽もさっそく食べられます。

おいしい野菜をつくりましょう!

タネが残ったら…
保存したい場合
タネ袋

タネ袋の口をセロテープなどできっちり止めて空気にふれないように、密閉できるビニール袋に入れて冷蔵庫の野菜室で保存して、なるべく早く使いきりましょう。

残ったタネをさらにまきたい場合

小さな苗は病気にかかりやすく、一度使った土は栄養が足りないため、新しいタネまき用の土とマグアンプKを用意します。
プランターを再利用する場合はきれいに洗いましょう!

※鉢底ネットはプランターなどの鉢底の穴が小さく、穴から土が出にくいものは使用しなくても大丈夫です。